



多田 伸一

(ボウリング・青年男子)

孤高の“カリスマ” 全国一への飛翔

両手を一瞬、翼のように広げる美しい投球フォームは、時に見る者のため息を誘う。今や、全国の選手から注目されるカリスマ的存在となった多田選手と、彼の師事する渡邊清美コーチに、地元・大分で開催される今大会へ“飛び立つ”意気込みを直撃インタビュー

全国障害者スポーツ大会への8大会連続出場、おめでとうございます。

(多田) ありがとうございます。

多田選手の「チャレンジ！おいた大会」への意気込み・目標をお聞かせいただけますか。

(多田) 大会3連覇と、大会記録(4ゲーム合計813点)の更新です。この2つを、地元の大会でぜひ狙いたいと思っています。

そもそも、多田選手がボウリングを始めたきっかけは何ですか？

(多田) 最初は、会社の方の勧めで始めました。その後、大分県ボウリング連盟の中野さん(晴夫氏・事務局長)から、コーチとして渡邊さんを紹介されました。それから、僕のボウリングもメキメキ上達しました。

多田選手にとつて、ボウリングでも「楽しい」ところって何ですか？

(多田) ストライクを取ること、スコアが200点を超えた時は、すごく嬉しいし、楽しいと感じます。

全国の選手から注目されている存在の多田選手は誰ですか？

(多田) 大阪市の白井幸太郎選手です。いろいろな大会でいつも上位にいる強い選手だから、全国大会にも強い選手と競うのが、面白いです。

渡邊コーチから見た、多田選手の強さの秘密は何ですか？

(渡邊) 多田の場合、とにかく一生懸命。また、聞いたことを素直に実行に移せるようになったのも、強さの秘密だと思います。

私が教えた始めた当初は、スコアも120から130ぐらいを練習の口でいろいろな指導を行いました。ウロウロしているうちに、素直に採り入れるところ、それを技術という力がついてから、彼のスコアがグーンとアツプしましたね。

最後に、多田選手・渡邊コーチから、読者の方へメッセージをお願いします。

(多田) 渡邊さんと出会って、ボウリングがうまくなりました。チャレンジ！とおっしゃって、応援をよろしくお願いします。

(渡邊) 多田に限らず、どの選手も皆それぞれ、実際に競った挑みれば、その思いが伝わります。また、このボウリングは、技術ですが、その身体・知的・精神的なところが、いろいろな障害がある選手が、得意なところがあります。多田選手は、その中でも、得意なところを、得意に伸ばして、誰にも負けないように、一生懸命に練習しています。

